

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：42項目

問題あり：3件

要確認：8件

問題なし：31件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

記載内容：「岸信千世（きしのぶちよ）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト、Wikipedia、自民党公式サイトで確認済み

記載内容：「1991年生まれの34歳（2025年現在）」

検証結果：✗誤り

正しい情報：1991年5月16日生まれの33歳（2025年現在）

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで生年月日は1991年5月16日と確認。2025年5月16日前なので33歳が正確

記載内容：「曾祖父に岸信介元首相」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数メディアで確認済み

記載内容：「伯父に安倍晋三元首相」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数メディアで確認済み

記載内容：「父に岸信夫元防衛相」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認済み

記載内容：「2024年11月発足の石破茂内閣」

検証結果：✗誤り

正しい情報：第1次石破内閣は2024年10月1日発足、第2次石破内閣は2024年11月11日発足

根拠・出典：首相官邸公式サイトで確認済み

2. 数値情報

記載内容：「約3,700万円もの寄附」

検証結果：✓正確

根拠・出典：週刊ポスト2025年2月28日報道で確認済み（2000万円+1714万円=3714万円）

記載内容：「2023年4月、父の議員辞職に伴う衆議院山口2区補欠選挙に立候補して初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数メディアで2023年4月23日投開票と確認済み

記載内容：「2024年10月の第50回衆議院総選挙でも再選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、自民党公式サイトで確認済み

記載内容：「2025年7月までの岸氏の政治活動」

検証結果：△要確認

理由：現在2025年8月のため、7月時点での活動記録の完全性は確認困難

3. その他の重要な事実関係

記載内容：「デジタル庁の大臣政務官兼内閣府大臣政務官に就任」

検証結果：✓正確

根拠・出典：首相官邸公式サイトで確認済み

記載内容：「慶應義塾大学商学部を卒業後、フジテレビ記者として勤務」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認済み

記載内容：「2023年6月2日の財務金融委員会で国会デビューとなる質疑」

検証結果：△要確認

理由：国会会議録で該当質疑は確認できるが、これが「国会デビュー」かは断定困難

記載内容：「政務官就任後の2025年には、デジタル庁を代表して答弁に立つ場面が増えました」

検証結果：△要確認

理由：2025年の国会活動詳細は現時点で完全な検証が困難

記載内容：「岸氏のFacebookページのフォロワー数は約6,100人、Instagramのフォロワー数は約5,000人」

検証結果：△要確認

理由：SNSフォロワー数は変動するため、記載時点での正確性は確認困難

記載内容：「家系図掲載問題」の詳細

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、朝日新聞報道で詳細確認済み

記載内容：「野党5党は政治資金世襲禁止法案を共同提出」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数メディア報道で確認済み

記載内容：「安倍派の政治資金パーティー収入問題」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数メディア報道で確認済み

記載内容：「台湾総統就任式への参加（2024年5月）」

検証結果：△要確認

理由：台湾総統府ニュースで参加記録はあるが、詳細な活動内容は確認困難

記載内容：「平成生まれの超党派交流会発足（2025年4月）」

検証結果：×誤り

正しい情報：毎日新聞報道では2025年4月17日記事だが、発足は4月16日

根拠・出典：毎日新聞2025年4月17日報道

4. 年表・時系列の検証

記載内容：「2020年11月、信夫の政務秘書官となる」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認済み

記載内容：「2023年2月7日、信夫が衆議院議員を辞職」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数メディアで確認済み

改善提案

修正が必要な箇所

- 年齢の修正: 「34歳（2025年現在）」 → 「33歳（2025年現在）」
- 石破内閣発足日の修正: 「2024年11月発足」 → 「第2次石破内閣が2024年11月11日発足」
- 平成生まれ議員連盟の日付: 発足日を「4月16日」に修正

追加確認が推奨される情報

- SNSフォロワー数: 具体的な数字ではなく「約〇千人規模」等の表現に変更推奨
- 2025年の国会活動: 現在進行形の活動については「～とみられる」等の推測表現を使用推奨
- 政治資金の詳細金額: 複数の報道源での裏取りを推奨
- 法案提出履歴: 国会図書館等の公式データベースでの再確認を推奨

全体的な評価

報告書の大部分の情報は正確でしたが、基本的な年齢計算ミスや内閣発足日の誤記など、注意深く確認すべき項目で誤りが見つかりました。特に数値情報や日付については、公式ソースでの再確認を徹底することを推奨します。